

# 事務事業事後評価表

## 《基本情報》

事務事業の名称 【1】	浄化槽設置整備事業		所管課 【2】	上下水道工務課
			評価者(担当者)	中尾 賢治
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	②人と自然にやさしい環境のまちづくり		
	主要施策(節)	(4)上水道・下水道の整備促進		
	施策区分 (市民意識調査結果)	(2)下水道などの整備		
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input checked="" type="checkbox"/> 新市建設計画【 年度予定 : 金額 千円】 <input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 浄化槽法、市浄化槽設置整備事業補助金交付要綱 】 <input type="checkbox"/> その他の計画【 】 <input type="checkbox"/> 該当なし			
事業区分 【6】	<input type="checkbox"/> ソフト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 義務的的事业 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定事務			
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【 款 4 項 1 目 9 細目 1			

## 《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	公共下水道・農業集落排水処理区域外の用排水路及び河川等の水質保全・生活環境の向上、公衆衛生環境の向上を図る必要がある。
対象(誰、何に対して) 【9】	公共下水道・農業集落排水処理区域外(玉名・岱明・横島)で浄化槽を設置する市民
意図(どのような状態にしたいのか) 【10】	浄化槽を設置することで、生活排水による用排水路及び河川の水質汚濁防止を図る。

## 《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 H17 年度から】 【 年度～ 年度まで】
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【 】
実施方法 【13】	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【 】
事務事業の具体的内容 【14】	・浄化槽を設置しようとする申請者に対して、補助金の交付事務(申請書の受付から設置後の現場確認及び補助金交付まで)、国・県への補助金の交付申請・受入事務、それに伴う実績報告事務 ・浄化槽未設置の世帯に対して、広報誌等により普及促進を図る事務 ・権限委譲により、設置者への検査・保守点検実施指導業務 ・既存住宅の汲み取りや単独浄化槽から合併浄化槽への切替を行ったときに追加補助をする事業
	事務事業を構成する細事業 【15】 ① 浄化槽設置整備事業 ② 浄化槽推進業務 ③ 浄化槽整備事業特別会計繰出金業務 ④ 浄化槽設置附帯工事補助金業務 ⑤

## 《事務事業実施に係るコスト》

			H25年度決算	H26年度決算	H27年度決算	H28年度予算	全体計画	
投入コスト	事業費(千円)	国庫支出金	33 %	28,567	16,626	15,794	28,130	
		県支出金	33 %	20,364	19,985	18,529	29,130	
		起債	%					
		受益者負担						
		その他						
		一般財源		30,189	37,853	32,403	56,028	
	【16】 小計		79,120	74,464	66,726	113,288	0	
	[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)		0	0	0	0		
職人 員 の 費	職員人工数		1.13	1.26	1.23	1.23		
	職員の年間平均給与額(千円)		5,424	5,761	5,761	5,761		
	【17】 小計		6,129	7,259	7,086	7,086		
合計			85,249	81,723	73,812	120,374		

《事務事業の手段と活動指標》【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28計画
① 浄化槽設置整備事業	浄化槽設置者に対し、補助金を交付する	設置基数	基	129	117	104	180
② 浄化槽推進業務	広報誌等により浄化槽の普及促進を図る	掲載回数	回	2	3	3	2
③ 浄化槽整備事業特別会計繰出金業務	浄化槽特別会計への繰り出し	繰り出し回数	回	1	1	1	1
④ 浄化槽設置附帯工事補助金業務	浄化槽設置者に対し、補助金を交付する	設置基数	基	71	65	50	90
⑤							

《事務事業の成果》【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H25目標	H26目標	H27目標	H28目標
			H25実績	H26実績	H27実績	
1 年間処理水量	(5人槽 0.2㎡×5人×設置基数+7人槽 0.2㎡×7人×設置基数+10人槽 0.2㎡×10人×設置基数)×365日=年間処理水量	㎡	90,885	81,395	65,627	80,957
2			54,969	49,129	44,968	

《事務事業の評価》

評価項目		評価の視点	評価	評価の説明
妥当性 (判定)	実施主体の妥当性【20】	市が実施すべき事業か。また、民間やNPO等の団体では実施できない事業か。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 問題なし	成果指標では未達成だが、申請者全員に補助金を支払った。
	目的の妥当性【21】	税金を使って達成する目的か。また、市民ニーズの低下により役割が薄れていないか。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 問題なし	
	廃止・休止の影響【22】	事業を止めた場合、受益者に不利益が生じる等の影響があるか。	<input type="checkbox"/> 影響あり <input type="checkbox"/> 影響なし	
有効性 (判定) B	目標の達成度【23】	成果指標の目標値は達成できたか。	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達成	成果指標では未達成だが、申請者全員に補助金を支払った。
	成果向上の余地【24】	成果がもっと上がる余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	上位施策への貢献度【25】	上位施策の目的達成に貢献しているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 十分 <input type="checkbox"/> 不十分	
効率性 (判定) A	コスト低減の余地【26】	コストの低減について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	成果指標では未達成だが、申請者全員に補助金を支払った。
	民間の活用の余地【27】	民間委託など民間活力の活用について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	執行方法改善の余地【28】	事務事業の執行上、簡素化又は改善できるプロセスはないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	事業統合の余地【29】	類似する他の事務事業との統合について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
公平性	受益者負担の余地【30】	受益者負担について、これ以上検討の余地はないか。また、対象、負担額等は適切か。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input type="checkbox"/> 余地なし	

《今後の方向性と改善》

今後の方向性【31】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小を検討 <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討 <input type="checkbox"/> 細事業の効率化【 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 民間活用 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> 廃止 】
判断理由及び見直し・改善の具体的内容	H25年度から導入している附帯工事補助金により汲み取りや単独浄化槽からの切替も進んでおり今後も現状のまま継続する。 また、広報やホームページに補助金額などを掲載することで申請を促す。
昨年からの見直し・改善状況【32】	特になし

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見【33】	浄化槽設置整備事業は、本市の生活排水処理区域のなかで最も広域な面積を有しており、平成25年度からの補助事業の見直しににより伸びが図られたものの、その他の整備区域より遅れている。汲み取りや単独浄化槽の普及を急ぐ必要があるが、高齢化や高額な個人支出が伴うことなどにより普及の鈍りを推察する。 今後も、浄化槽設置区域の整備普及を積極的に行い、住環境の改善、公有水面の水質保全の向上を推進する。	評価責任者 戸寄 孝司
------------------	--	----------------